

# 胆沢平野



胆沢平野の春の風物詩、「放水式」が平成28年4月21日に桜満開のもと、行われました。今年も、約1万haの米どころ、「胆沢平野」を潤す通水が始まりました。



## 目次

- 1 表紙（放水式）
- 2 理事長あいさつ
- 3 平成28年通常総代会
- 4 平成28年度各種補助事業一覧表
- 5 本年度取水計画
- 6 平成28年度水利施設管理人名簿
- 7 平成28年度県営事業の状況
- 8 シリーズ「聞く」
- 9 胆沢平野版農業クラウドシステムについて
- 10 職員配置図・人事異動等について・改良区からのお知らせ



## 理事長あいさつ

平成28年通常総代会（抜粋）

### 胆沢平野土地改良区 理事長 及川正和

一言、ご挨拶を申し上げます。

まずもって、組合員の皆様方には平素より本土地改良区の運営にあたり、特段の温かいご理解と力強いご協力をいただきしております。衷心より厚く御礼と感謝を申し上げます。

さて、さる3月23日、平成28年胆沢平野土地改良区通常総代会におきまして、総額1,297,724千円の平成28年度予算を議決いただき、予算執行にあたり、「基盤整備事業の加速的推進」と「胆沢平野版農業クラウドシステムの取り組み」を重点目標に掲げ、両輪として進めることとしております。

「基盤整備事業の加速的推進」につきましては、TPP政策大綱に基づく新たなコメ政策に対応できる基盤整備として、本土地改良区管内では県営大区画ほ場整備の実施地区が10地区、計画地区が10地区と、それぞれ農業の担い手確保と生産コストの低減等に向け、地域の総力を挙げて取り組んでおります現状に鑑み、一日も早い事業着工と早期完工に向け、更なる支援にあたって参ります。

「胆沢平野版農業クラウドシステムの取り組み」につきましては、昨年度より組合員皆様方の農業経営支援の一助として取り組みを始めたものであります。今年度は、平成29年度の本格実施に向け、組合員並びに特定農業団体の中から、70経営体（個人も含む）を対象としたモニタリングを、全職員がそれぞれ担当し、使いやすいシステムの完成を目指すものであります。このモニタリングの実施と並行して、必要な農業関連情報として通水状況、管内の天気、農業機械情報等を幅広く知ることが出来るシステムの完成を目指し「農政新時代」を切り拓いて参りたいと思います。

また、円筒分水工「命水の大噴水」がある徳水園におきまして、胆沢ダム完成後、来場者が飛躍的に伸びておりますことから、徳水園駐車場に大型観光バスやバイクなどが駐車できるスペースを確保し、胆沢平野のシンボルであります円筒分水工並びに命水の大噴水を通じ、さらなる胆沢平野の魅力を情報発信して参ります。組合員の皆様方にも是非足を運んでいただければと思います。

平成21年度から10ヶ年計画でスタートしました「胆沢平野土地改良区再生基本構想」も制度の改廃や、ほ場整備地区の増加、胆沢ダムの本格供用開始等により、目標をはるかに上回る成果に結びついておりますが、今年度はこの再生基本構想の中期最終年度を迎えており、更なる成果に結び付くよう「仕事は組合員のために」を基本理念とし、タイムリーな土地改良区運営に役職員一丸となって取り組んで参る所存でありますので、温かいご理解と力強いご支援ご協力をお願い申し上げ、ご挨拶といたします。



徳水園の整備した駐車場



# 平成28年 通常総代会

平成28年通常総代会を3月23日開催いたしました。

来賓には、小沢昌記奥州市長、煙山義史岩手県南広域振興局農政部農村整備室長の来席をいただきご祝辞を頂戴しました。

議長には、永栄地区高橋新一総代を選出し、平成28年度各会計の予算、事業計画を含む全25議案について慎重審議いただき、全議案原案のとおり可決決定いたしました。

## 平成28年度 予算概要について

財政シミュレーションに基づき、平成28年度は次世代を担う経営感覚に優れた扱い手の育成を支援する上で、農家の米の生産コストを削減するため、「基盤整備事業の加速的推進」と「胆沢平野版農業クラウドシステムの取組」を重点目標として実施して参ります。

### ◎収入

### ◎支出

(単位：円)

項目	予算額	項目	予算額
一般会計	696,013,000	一般会計	696,013,000
維持管理特別会計	178,575,000	維持管理特別会計	178,575,000
通過金特別会計	423,136,000	通過金特別会計	423,136,000
計	1,297,724,000	計	1,297,724,000

※1 一般会計：土地改良区の運営に関する予算

※2 維持管理特別会計：土地改良施設の維持管理に関する予算

※3 通過金特別会計：農業農村整備事業実施における事業負担金・事業償還金から手数料を引いた額で基本的に削減することが出来ない予算

平成28年度予算額は1,297,724,000円で、平成27年度予算額1,607,227,000円に対し、前年度対比80.6%となり、金額で309,503,000円の減額となります。

### ■前年度対比

(単位：円)

区分	平成28年度予算	平成27年度予算	比較増減	備考
収入予算額	1,297,724,000	1,607,227,000	△ 309,503,000	
支出予算額	1,297,724,000	1,607,227,000	△ 309,503,000	



平成28年通常総代会で可決となりました予算、補助事業、賦課金一覧については次のページのとおりです。

## 紙芝居コーナー 「水の環境会議」

このコーナーは、紙面の一角を使い胆沢平野土地改良区の偉人や、水路の働きを紹介する紙芝居を連載していきます。是非ページをめくしながらご覧ください。お子さんや、お孫さんへの読み聞かせにもどうぞ。

今回のお話は『水の環境会議』だよ。

小学5年生の水樹はサッカーハンターです。  
放課後になると友達を集めて毎日のようにサッカーをして遊んでいます。

「水樹、いくよー！」

「よーし、シュートだ！」水樹はゴールの隅を狙って思いっきりボールを蹴りました。

「ああ～あ～、ごめん。」

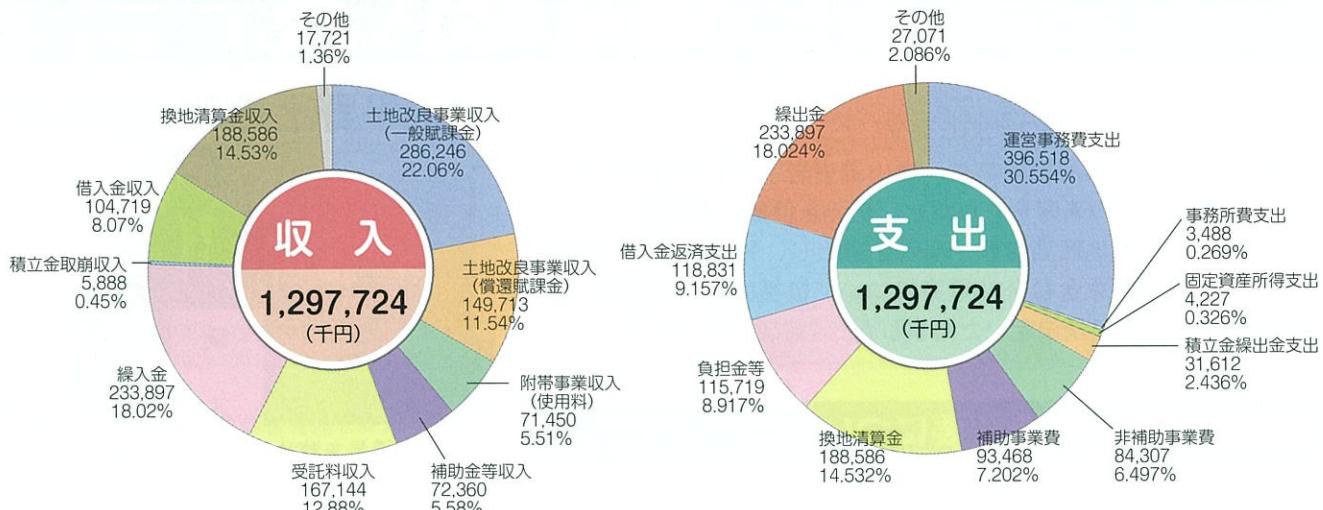
水樹のシュートは大きくそれで校庭の外へ飛び出して行きました。

みんなで、ボールを探しに行きましたが見当たりません。





## 平成28年度 予算のあらまし【一般会計及び維持管理特別会計の合算】



※換地清算金は各地区の清算金及び創設土地代金です。

## ○平成28年度補助事業

〈表-1〉一般維持管理事業

(単位：千円)

事業種別	地区名	工種	事業量	事業費	資金内訳		
					補助金	借入金	その他
基幹施設事業	胆沢平野地区	水路	23箇所	17,100	—	—	17,100
小用排事業	水沢区、胆沢区、前沢区	水路	1,700.0m	23,900	11,950	—	11,950
合計				41,000	11,950	—	29,050

〈表-2〉土地改良施設維持管理適正化事業

(単位：千円)

地区名	工種	事業量	事業費	資金内訳			施工場所
				補助金	借入金	その他	
徳岡寿安上堰除塵機	施設機械	一式	3,800	3,420	—	380	胆沢区小山
徳岡岩洞除塵機	施設機械	一式	3,800	3,420	—	380	胆沢区小山
ニノ台揚水機	施設機械	一式	6,500	5,850	—	650	衣川区大平
合計			14,100	12,690	—	1,410	

〈表-3〉土地改良施設PCB廃棄物処理促進対策事業

(単位：千円)

地区名	工種	事業量	事業費	資金内訳			調査場所
				補助金	借入金	その他	
胆沢平野	廃棄物処理	一式	3,500	450	—	3,050	ニノ台、二渡、谷木前揚水機

## ○平成28年度 賦課金一覧表(10アール当たり)

〈表-4〉一般賦課金(10アール当たり) (単位：円)

区分	金額
一般地区	3,100
揚水機併用地区	2,170
揚水機専用地区	1,860
太郎ヶ沢地区	1,860
大歩、金入道地区	1,240
黒石地区	3,100
生母白山地区	3,100
生母白山地区(畠)	310

〈表-5〉幹線償還賦課金(10アール当たり) (単位：円)

区分	金額
一般地区	500
大歩、金入道地区	200
黒石地区	500
生母白山地区	500

## 賦課金の納入について 納期限までに必ず納入下さいますようお願いいたします。

一般賦課金	賦課期日	平成28年4月1日
	納期限	第1期 平成28年5月2日
		第2期 平成28年11月30日
償還賦課金	賦課期日	平成28年7月1日
	納期限	第1・2期 平成28年11月30日

※注意！賦課金の納期限を過ぎると、年14.6%の延滞金が加算されますのでご注意願います。

また督促状を発行した場合には、督促手数料100円が過怠金として徴収されます。

## ※前納報奨金について

一般賦課金については第1期の納期限、償還賦課金については分納期限（本年は8月1日）までにそれぞれ全額お支払いください。前納報奨金が交付されますので、前納報奨金を差し引いた金額での納入となります。

## 使用料の納入について

施設・排水使用料	発行日	平成28年4月1日
	納期限	平成28年5月2日



## 平成28年度 取水計画

農作業及び稻の生育状況に応じた、かんがい期の取水計画は次の通りです。

### 【平成28年度 農業用水安定供給取水計画】

(単位 : m<sup>3</sup> / s)

期別	期間	寿安・茂井羅水系	西南部水系	穴山水系
代播期	4/21~5/5	16.0	4.0	1.6
田植期	5/5~5/25	15.0	3.5	1.3
葉剤散布期	5/26~6/15	11.0	3.0	1.3
間断灌水	6/16~7/5	10.0	3.0	1.1
中干期	7/6~7/25	10.0	3.0	1.1
出穂期	7/26~8/15	14.0	3.5	1.3
落水期	8/16~9/10	8.0	2.5	1.1
非かんがい期 (維持用水)	9/11~4/20	1.5	0.3	0.1

### 【平成28年度 農水通水計画】

年月日	項目	内容
H28.4.21	平成28年度放水式農水（寿安・茂井羅）水系通水開始	用排水管理を開始（9月10日まで）
H28.4.21	西南部・穴山水系通水開始	用排水管理を開始（9月10日まで）
H28.7.16~17	夏期刈払断水（1回目）	7月第3週の土曜日・日曜日
H28.7.23~24	夏期刈払断水（2回目）	7月第4週の土曜日・日曜日
H28.9.10	農水・西南部・穴山水系	かんがい用水期間終了

### 【平成28年度 北上川水系 通水計画】

年月日	項目	内容
H28.5.1	生母白山地区・二渡地区・内掘地区・大明神地区 通水開始	用水管理を開始（8月31日まで）

通水に関しての問い合わせは下記電話番号までお願ひいたします。

胆沢平野土地改良区 水利整備課 用排水係 ☎0197-24-0171 (代表電話)

☎080-1696-2925 (水利整備課直通電話)



◎荻ノ窪地区事業概要  
受益面積 236.5ha  
事業期間 平成25年度～30年度  
事業費 4,020,000千円  
関係受益者 202戸

## 荻ノ窪地区経営体育成基盤整備事業施行委員会と 管理協定を締結

胆沢平野管内では、全てのほ場整備地区と工事着手後に用水管理協定を締結しております。ほ場整備で造成された水利施設の維持補修や日常管理について、管理区分を定め、用水管理組合（施行委員会）に適正な管理をしていただくことを目的としております。

去る平成28年3月18日、荻ノ窪地区、千田幸男施行委員長ほか役員の皆様方のご出席により、無事に管理協定を締結いたしました。

4月からのパイプライン通水につきまして、ご理解、ご協力をお願ひいたします。



「おかしいな、確か、この辺に落ちたと思うんだけど」  
「さっき、水が跳ねる音がしたから、水路に落ちたんじゃないかな？」  
「その時です。チャップンと音がして水の妖精アクア君が現れました。」  
「やあ、水樹君。どうしたんだい？」  
「さっき、サッカーボールを水路に落としちゃったのに見つからないんだ。」  
「アクア君の魔法で探せないかなあ。」  
「そんなことならお安いご用だよ。でも、ぼくからも水樹にお願いがあるんだ。」  
「ええーっ、どんなこと？」  
「まず、一緒に来てよ。」言うなり、アクア君は水樹に魔法をかけました。  
「うわあ～、目がまわる～っ！」





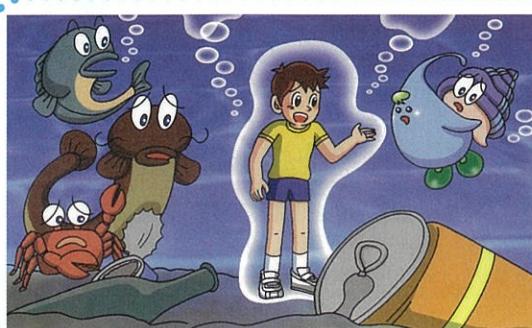
# 平成28年度 水利施設管理人名簿

○水路施設（水門、揚水機等）の管理をお願いしております。

9月までの用水期間中、組合員皆様方のご理解、ご協力を宜しくお願ひいたします。

番号	区分	地区名	施設名	管理人氏名
1	溜池	若柳	十三軒	小原洋二
2	溜池	若柳	大清水	小原洋二
3	溜池	若柳	萩森	小原洋二
4	溜池	若柳	愛宕	阿部幸義
5	溜池	若柳	鳴沢	阿部幸義
6	溜池	若柳	万治屋敷	佐々木一雄
7	溜池	若柳	野中	佐々木広彦
8	揚水機	若柳	宮坂	小原洋二
9	揚水機	若柳	横沢原	下河辺良治
10	除塵機	若柳	宮坂除塵機	小原洋二
11	スクリーン	若柳	箸塚	阿部金市
12	溜池	小山	万内	遠藤克利
13	溜池	小山	長堤	小野寺清一
14	溜池	小山	駒込三堤	黒沢公男
15	溜池	小山	土手渡	渡辺功
16	溜池	小山	中沢三堤	岩渕幸男
17	溜池	小山	与四郎	佐藤幹男
18	揚水機	小山	屋白	高橋康
19	揚水機	小山	二ノ台	岩渕幸男
20	水門	小山	大畠	村上春男
21	水門	小山	新田堰	吉田誠
22	除塵機	小山	駒込除塵機	黒沢清治
23	揚水機	小山	1号揚水機	佐藤幹男
24	水門	南都田	京徳田	石川千早
25	スクリーン	南都田	小十文字・大持	千田哲夫
26	スクリーン	南都田	駒木分水	岩渕秀雄
27	水門	南都田	鶴田分水	高橋重博
28	水門	佐倉河	富田	永井充
29	水門	佐倉河	高堰	三宅務
30	スクリーン	水沢	大鐘	後藤彰太郎
31	スクリーン	水沢	小違堰後田	小野寺健寿
32	揚水機	真城	植田	千葉甫
33	水門	真城	苅又	佐藤節男
34	水門	真城	長泉寺後	千葉博志

番号	区分	地区名	施設名	管理人氏名
35	水門	真城	塩加羅	菅原精吾
36	スクリーン	真城	志田見沢	小野寺勝志
37	スクリーン	真城	中林	深澤信男
38	スクリーン	真城	宮沢	千葉久寿
39	水門	真城	瀬台野	遠藤俊男
40	揚水機	姉体黒石	檜田	志和喜悦
41	水門	姉体黒石	水ノ口	佐藤正
42	水門	姉体黒石	須江	佐々木光生
43	揚水機	姉体黒石	内堀	石川忠光
44	揚水機	姉体黒石	大明神	石川忠光
45	揚水機	姉体黒石	二渡	菅原辰郎
46	スクリーン	古城	栗生沢	高橋繁美
47	スクリーン	古城	板子沢	千田市治
48	スクリーン	古城	明後沢スクリーン	本平叶
49	スクリーン	古城	狼ヶ志田	小野寺和彦
50	スクリーン	古城	養ヶ森	菅原栄夫
51	揚水機	白山生母	白山・沖沼	佐々木安彦
52	揚水機	白山生母	天王谷起	阿部忠
53	水路	前沢	第7号用水路	石川芳雄
54	水路	前沢	第8号用水路	佐藤弘行
55	溜池	前沢	一町歩	福田進
56	溜池	前沢	高堤	鈴木松雄
57	溜池	前沢	出口	浦川公悦
58	溜池	前沢	千代治(1)	佐藤弘行
59	溜池	前沢	千代治(3,4)	高橋光夫
60	溜池	前沢	三町歩	高野興七
61	揚水機	前沢	太郎ヶ沢(1)	小野寺俊
62	揚水機	前沢	太郎ヶ沢(2)	小野寺俊
63	揚水機	前沢	大桜	門脇良一
64	溜池	前沢	半蔵	蜂谷庄一
65	溜池	永栄	北沢	柴田晃
66	揚水機	永栄	谷木前	柴田武志
67	水門	永栄	中島	及川勉
68	水門	永栄	大屋敷	佐藤栄一



水樹はミニサイズになって水路の中に来ました。そこには水路に住むタニシやドジョウやフナなどがいました。

「それでは、水の環境会議を始めます。」アクラ君が言いました。

「ええっ、環境会議？おれ、環境なんて考え方ごとないよ。」

「水樹君、周りをよく見てよ。ごみがいっぱいだろ。空き缶やビニール袋、ペットボトル、みんな人間が落としていったものだよ。」水路に住む生き物たちが困り顔でつぶやきました。

「確かに。普段あまり気を付けたことなかっただけ、思ったより、ごみがあるなあ。」「そうだろう？僕たちもそろそろ限界だ。みんなできれいな川へ引っ越すぞうかと思っていたんだ。」フナが言いました。

「ちょっと待ってよ。オレ、水路をきれいにする方法を考えてみるよ。」



## 平成28年度 重点目標「基盤整備事業の加速的推進」

# 平成28年度県営事業の状況

県営基盤整備事業等実施地区（工事・実施設計）10地区、調査地区（営農計画・測量）地区の計10地区の計20地区的現在の状況と平成28年度の予定について紹介します。

## ○実施地区

地区名	面積(ha)	平成28年度の予定
都鳥	236	補完工・権利者会議
南下幅北部	113.4	補完工・権利者会議
裏新田	32.1	補完工
内堀	21.9	補完工
荻ノ窪	215.3	面工事
愛宕	437	パイプライン工
若柳中部	316.2	実施設計
真城北	70.4	本事業採択後実施設計
真城南	59.3	本事業採択後実施設計
南方	117.5	本事業採択後実施設計

## ○調査地区

地区名	面積(ha)	平成28年度の予定
小山西	169	一定区域、営農ビジョン検討
小山中央南	166	一定区域、営農ビジョン検討
小山中央北	246	一定区域、営農ビジョン検討
小山東	152	一定区域、営農ビジョン検討
北下幅	368	一定区域、営農ビジョン検討
姉体秋成	76	一定区域、営農ビジョン検討
四ツ屋	77	一定区域、営農ビジョン検討
石田南・南下幅南部	187.1	一定区域、営農ビジョン検討
東田西部	29.5	一定区域、営農ビジョン検討
真城西	161.3	一定区域、営農ビジョン検討

## 平成28年度基盤整備事業当初予算の確保に関する要請会開催

- 平成28年2月12日、平成28年度基盤整備事業当初予算の確保に関する要請会を開催しました。基盤整備事業を進めている管内16地区の代表者が出席し、事業が計画通り完了するよう求める要請書を県へ提出しました。

岩手県農村計画課、農村建設課、県南広域振興局農村整備室の関係者を迎え、管内の基盤整備事業の当初予算の確保と円滑な事業の推進を求める要請書を手渡しました。

その後、16地区の各地区委員長全員より、地区の切実な現状や基盤整備事業の重要性、そのための予算確保の要望を述べました。愛宕地区地区阿部委員長からは、「今年度から工事着手しているが、予算削減に伴い、当初の計画通り進んでいない。就農者の高齢化に伴い、離農する人も増えてきており、条件の悪い農地は耕作放棄地となってきた。1年でも早い工事をお願いしたい。」と述べられました。

また、他地区の委員長からも耕作放棄地の増加を懸念する声が多く、その他、「後継者不足が深刻であり、法人を立ち上げて頑張っていこうとしている。組織で運営していくには区画整理は必須である。工事期間が延長されないよう予算の確保をお願いしたい。」などの声がありました。

これを受け、岩手県伊藤技監は「県議会議員や関係機関の応援もいただきながら、皆さんの要望に応えられるよう、しっかりと国へ基盤整備事業予算の増額を要請をしていきたい。」と述べられました。



## 新規4地区が県営農村整備計画調査事業に採択される

昨年9月に、県に計画調査事業に申請しておりました、四ツ屋、石田南・南下幅南部、東田西部、真城西地区の4地区について審査がとおり、調査事業の採択を頂きました。

4年間、調査事業として地形や生態系などの調査、排水や用水、1ha区画の水田の設計を行い、また、現在重視されている営農の計画を作成していきます。4年後本事業同意がまとまり、審査にクリアすれば晴れて事業実施となります。工事開始の予定は5年後となります。



四ツ屋地区



真城西地区



石田南・南下幅南部地区



シリーズ連載

○聞く 第19回

# 「ほ場整備事業完了について」

～県営経営体育成基盤整備事業古城地区事業施行委員会 委員長に聞く～

平成27年度に事業完了を迎えた県営経営体育成基盤整備事業古城地区事業施行委員会委員長三浦強様に事業実施に至るまでの経緯等についてお話を聞きしました。

## ◎事業概要

受益面積 275.9ha  
権利者数 441名  
事業期間 平成14年度から平成27年度  
総事業費 30億92百万円



**Q1** 昨年12月に権利者会議を終え平成27年度をもって事業完了を迎えますが、まず、一言お願ひします。

**A1** 平成14年に事業採択となり工事着工し、事業完了まで14年間という長い年月が経ちました。思い起こしますと、平成7年頃に営農改善協議会において古城地域の水田農業をどうすべきか話題になったことが発端と記憶しています。昭和30年前後に東部古城地区で区画整理された道水路の機能不全、胆沢平野の末水であることからの水苦労等の解消、農業の先行き不安を解消するため数々の座談会を開催し、周辺地域の基盤整備が進められる中、平成11年に促進委員会を設立し、調査が進められました。そこから考えますと有に二十余年携わっており事業完了においては感慨無量あります。古城の先輩諸兄が農業の未来と地域づくりに培った歴史が地域の大きな「和」となって委員会を支えていただき、受益者の方々の全面的なご協力に改めて感謝いたします。残すところ今年は換地清算、完工式を予定しておりますが、受益者の皆様におかれましては、重ねてご協力をお願ひいたします。

**Q2** 事業を実施していく上で苦労した点を教えてください。

**A2** 大きな苦労はありませんでした。古城地域で先行していた古城北部・姥沢・寺領小林地区の状況を受益者も見ていきましたから協力も得やすかった。多かれ少なかれ懸案は様々ありましたが事業採択以降、故細川清前委員長を中心に施行委員会として権利者からの質問要望に対しこまめに回答してきたことが受益者からの信頼を得てきた成果と思っています。

**Q3** ほ場整備を実施しどのようなことが良かったと思ひますか。

**A3** 胆沢ダムの恩恵により用水の心配も無くなり、大区画による作業効率の良さは当然のことですが、水稻・大豆を主要作物としている当地区では暗渠が抜群に良いです。面工事後の転作では水焼けが酷く大仙市の農業研究センターへ研修に行き暗渠施工後は解消されました。当初は120町程の暗渠計画でしたが、水田フル活用するには全域施工する必要性を感じ計

画変更し、埋蔵文化財包蔵地以外全て施工していただこととしました。稻作に於いても降雨の翌日でも稲刈りすることができ農作業が計画的に進めることができます。生活環境に於いては、以前は軽トラックが通れるかどうかの農道が今では4t車も通行できます。

**Q4** 活活性化計画の66%集積目標を上回る70%と高い集積率となっておりますがその秘訣について教えてください。

**A4** 担い手組織「古城ライスフィールド」を早々に法人化できたことが大きいと思います。設立の際にも全戸に声を掛け、当初は34名の担い手候補を募ることができました。現在は14名のオペレーターが活躍しており、また、自己完結農家からも転作分については100%協力いただいている。いずれにせよ皆さんのご協力により集積促進交付金も前倒しで頂戴し繰上償還でき受益者の負担軽減に繋げられたことは重要がありました。受益者、担い手の皆さんに大変感謝しています。

**Q5** これからほ場整備を実施する地区もしくは考へている地域への助言などありますか。

**A5** 個人で営農する分には問題がないかもしれませんのが、個人で営農できなくなった場合、小区画ほ場では、地域の担い手が受託することもままならず、結果、耕作放棄地となってしまうことが懸念されます。また、その地域を担う生産者を地域の和を持って支えていくことが大事だと思います。

**Q6** 最後に今後の展望をお聞かせください。

**A6** 担い手の担い手、後継者への継承問題と集積率の維持が不安材料となっています。幸い受益者の中からも農機を処分したので全部委託したいとの声もあり、ありがたいことだなと思っています。今後は、どのような声に応え地域の受け皿として6年又は10年の利用権設定での安定的な営農に取り組んでいきたいと思っています。終わりに、碑に刻まれた思いを胸に天地有情を肌で感じ「強い農業が生き残るのではなく、生き残った農業が強い」と自分に言い聞かせ、地域のより一層の発展に期待しています。



アクアのタイムスリップでさっきの時間に戻された水樹はみんなのところへ帰りました。

「水樹、ボール見つかったか？」

「うん。ボール、アクア君に見つけたよ。あと、さっき、アクア君と一緒に水の環境会議に出てきたんだ。それでさ、みんなに相談したいことがあるんだ……」

水樹は、水路の中のごみの状況や、困っている生き物たちの話をみんなに話しました。

「僕も、ボールを探しながら、ゴミが結構落ちてるなって思った。」

「じゃあさ、今度の日曜日みんなでゴミ拾いしたらどうかな。」

「お母さんや、お父さんにも話してみるよ。」



## 平成28年度 重点目標「胆沢平野版農業クラウドシステムの取り組み」

### 胆沢平野版農業クラウドシステムの構築に向けて

近年注目されている農業クラウドとは、農作業に関わるデータをインターネット上で管理し作業効率や生産性を高めるシステムです。

胆沢平野土地改良区では、この仕組みをより簡単に行えるよう、身近に利用しているエクセルでシステム構築を進めております。

平成28年度は、管内約70経営体を対象に試作システムを利用してモニタリング調査を行い、システムの修正を加え、平成29年度には本格実施する予定です。本格実施の際には改良区ホームページ上からダウンロードして利用いただけます。



#### ■今後の方向性

全体像は、これら3つのシステムを中心とし、中央農業総合研究センター及び農水省の開発・管理する農業クラウド「FSDB」の胆沢平野版ページを始め、農業関連情報をホームページに集約する予定です。



次の日曜日、水樹たちの呼びかけに応じて、水路にはたくさんの人たちが集まりました。

「一度にこんなに人が来たら、水路の生き物たちが驚いているかもね。」

「でも、きれいになった水路を見たら、きっと喜んでくれるよ。」

「昔はトンボやホタルが数えきれないくらい飛んでいたってお母さんが言ってたよ。また、そななるといいね。」

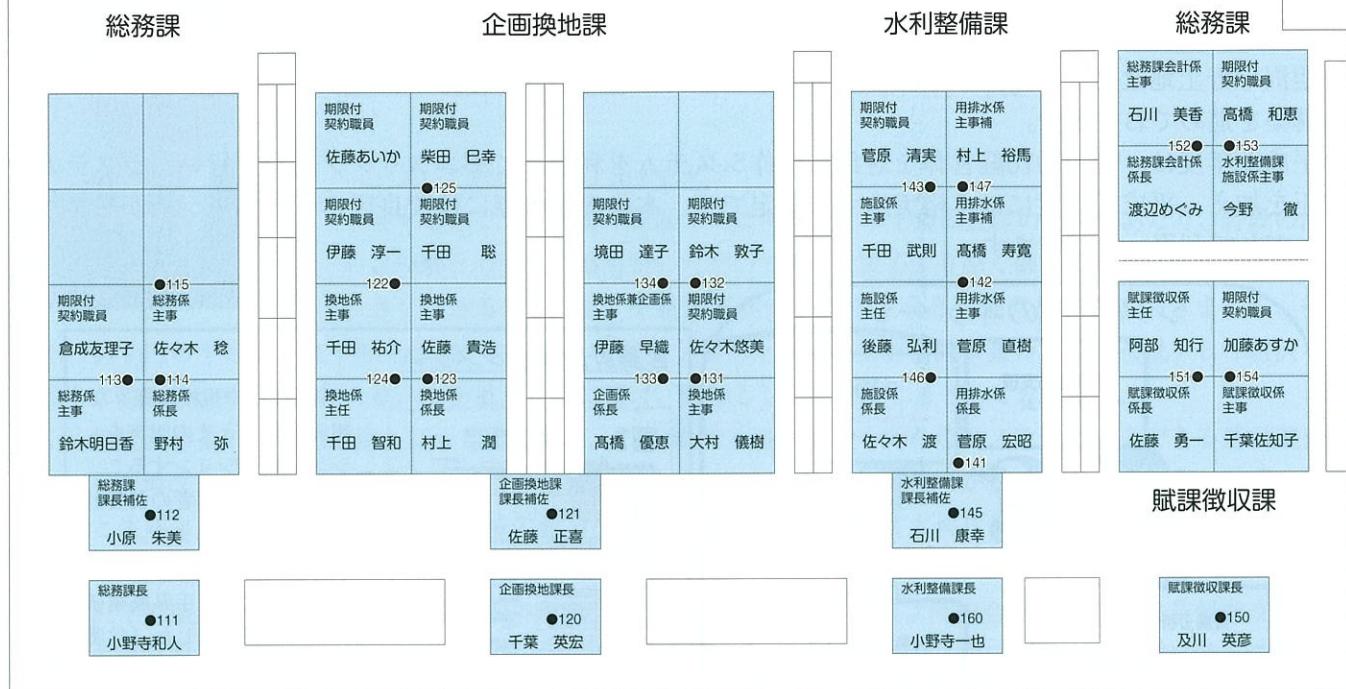
「サッカーもいいけど、たまに、こうしてゴミ拾いをしようか。」

「そうしたら、ゴミを捨てる人もいなくなるかも知れないよ。」

その時、フナが水樹の足元ではね上がりました。きっと環境会議に出ていたフナが水樹に御札を言いに来たのでしょうかね。



## 胆沢平野土地改良区 配置図



平成28年度4月職員人事異動一覧表

(平成28年4月1日付)

氏名	旧 所 属				新 所 属			
	課	係	職名	兼職	課	係	職名	兼職
今野 徹	水利整備	用排水	主事		水利整備	施設	主事	
大村 儀樹	水利整備	施設	主事		企画換地	換地	主事	
佐々木 稔	企画換地	換地	主事		総務	総務	主事	
村上 裕馬	総務	総務	主事補		水利整備	用排水	主事補	

## 水土里ネット胆沢平野からのお知らせ

胆沢平野土地改良区では、土地改良施設（水路敷等）に係る協議、申請及び許可書交付等の受付日を定めてあります。事前に担当者との打合せをお願いいたします。

●排水放流許可、施設使用許可、工事施工協議、境界立会協議について  
**毎週火曜日と木曜日の午前9時から12時にお願いいたします。**

●開発行為協議、工事打ち合わせ等について  
事前の約束をお願いします。

お問い合わせ：水利整備課施設係 ☎0197(24)0171(代)

編集後記

4月14日熊本地震が発生し、5年前の東日本大震災を思い出されました。被害に遭われた方には衷心よりお見舞い申し上げます。

さて、4月21日には、桜満開の中、放水式が行われ、今年も農作業の本格開始の合図が出されました。今年は好天に恵まれ、農作業が早く進んでいるように感じます。施設管理人等の皆様には半年間お世話になりますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

## □広報編集委員

委員長：吉田力雄総務担当代表理事  
副委員長：佐々木統治事業担当代表理事

編集委員：小原 朱美、野村 弥（総務課）  
高橋 優恵、伊藤 早繩（企画換地課）  
小野寺一也、佐々木 渡（水利整備課）  
千葉佐知子（賦課徵収課）